

門真市生涯学習複合施設建設基本構想

■ 基本コンセプト

**地域とともにコミュニティを育む
文化・学習の交流拠点**

多様な文化・学習 活動の展開

- 多様でワクワクするような文化・学習活動が展開される、『自ら学び』『ともに学びあう』場
- 訪れやすく、広範な市民に身近な施設

地域コミュニティ の醸成

- 文化・学習活動を通じて、多様な目的を持った幅広い世代が交流、協働できる場
- 市民が積極的に関われるソフトプランニング

地域の 景観づくり

- 地域の景観づくりの先導、まちづくりの核
- 都市イメージを高める景観・デザイン
- 地域性を具現化したデザイン

■ 図書館部門整備方針

**幅広い世代の関心を取り込んだ
図書館資料が活用できるゆとりある滞在の場**

- ゆとりある滞在型の施設
- 課題解決のための情報拠点
- 学習する権利の保障
- 幅広い資料・情報の充実

■ 文化会館部門整備方針

市民の自主的・創造的な活動を支援・発信・循環する場

- 市民相互の交流の創出と活性化
- 人づくり・文化・学習・情報の拠点
- 民間等の多様な主体との連携・協力
- 自主・創造的な活動の循環

■ 付帯部門整備方針

新たな出会いを生み出し、幅広い交流を育む、憩いの場

- 多世代交流を生み出す人づくり支援
- 気軽に立ち寄れる憩いの施設
- 子育て世代が利用しやすい施設

■ 配慮すべき事項



■ 諸条件の整理

■ 生涯学習複合施設建設予定地の敷地条件

敷地面積	約 3,000 m ²
用途地域	第2種住居地域
建ぺい率	60%
容積率	200%
許容建築面積	約 1,800 m ²
許容床面積	約 6,000 m ²

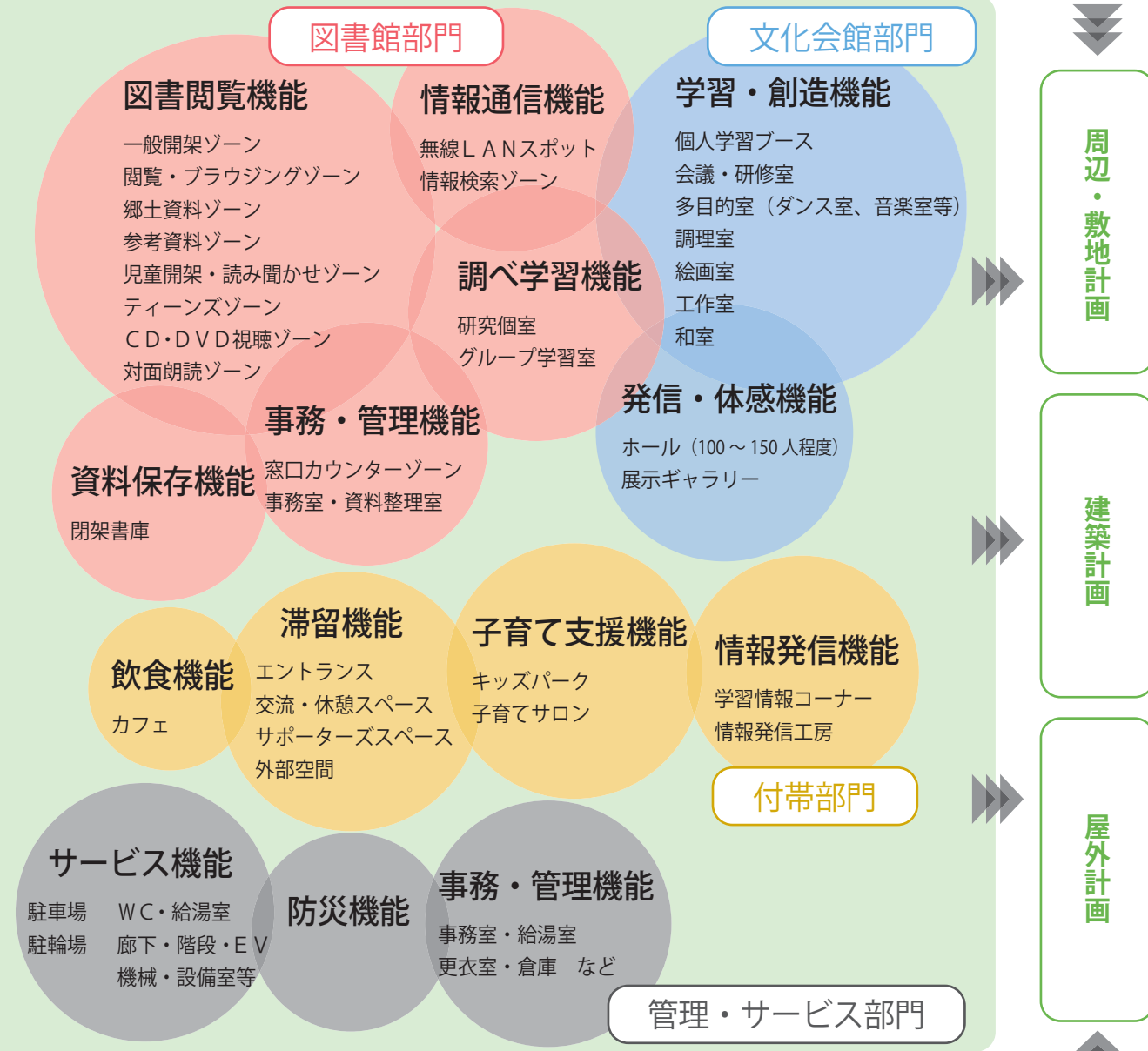
■ アンケート調査による機能の整理

- (1) 図書館のグループ利用の促進
- (2) 文化・学習活動に対する幅広いニーズへの対応
- (3) 若者が訪れたい環境の創出
- (4) 子育て世代の利用しやすさの向上
- (5) 訪れたい多世代交流の場の促進

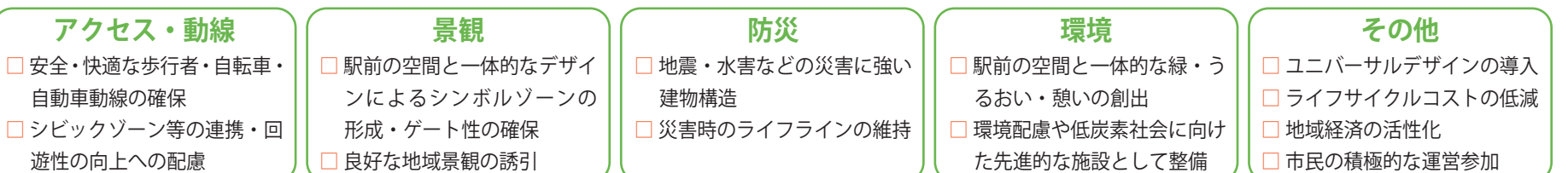


■ 導入機能の設定

- 図書館閲覧機能**
 - ・利用形態（滞在時間など）に配慮した計画
 - ・ゆとり、明るさ、快適性、わかりやすさに配慮した計画
- 調べ学習機能**
 - ・図書・資料を活用した学習・研究の場
 - ・図書館閲覧機能、学習・創造機能との連携に配慮した機能の配置
- 情報通信機能**
 - ・情報化社会に対応した、より質の高い図書館サービスの提供（IT技術の導入など）
- 学習・創造機能**
 - ・自主的・創造的な文化・学習活動の場
 - ・将来的な活動の多様化に対応できるような多目的な利用が可能な学習環境の充実
 - ・図書館部門との連携による生涯学習の拠点
- 発信・体感機能**
 - ・市民の様々な活動の成果を発信・体感する場
 - ・学習・創造機能と近接性（連携）を有した自主的・創造的な活動の循環の場
- 滞留機能・飲食機能**
 - ・気軽に立ち寄れる交流・憩いの場
 - ・市民活動との連携・協力による運営の検討
- 子育て支援機能**
 - ・子育て世代の利用促進（子どもが自由に遊びながら学ぶことができる環境づくりなど）
 - ・子どもを中心とした多世代交流の促進
- 情報発信機能**
 - ・多様な情報の発信・共有の支援



■ 施設整備において配慮すべき事項



■ 整備計画モデル

□ 周辺・敷地計画

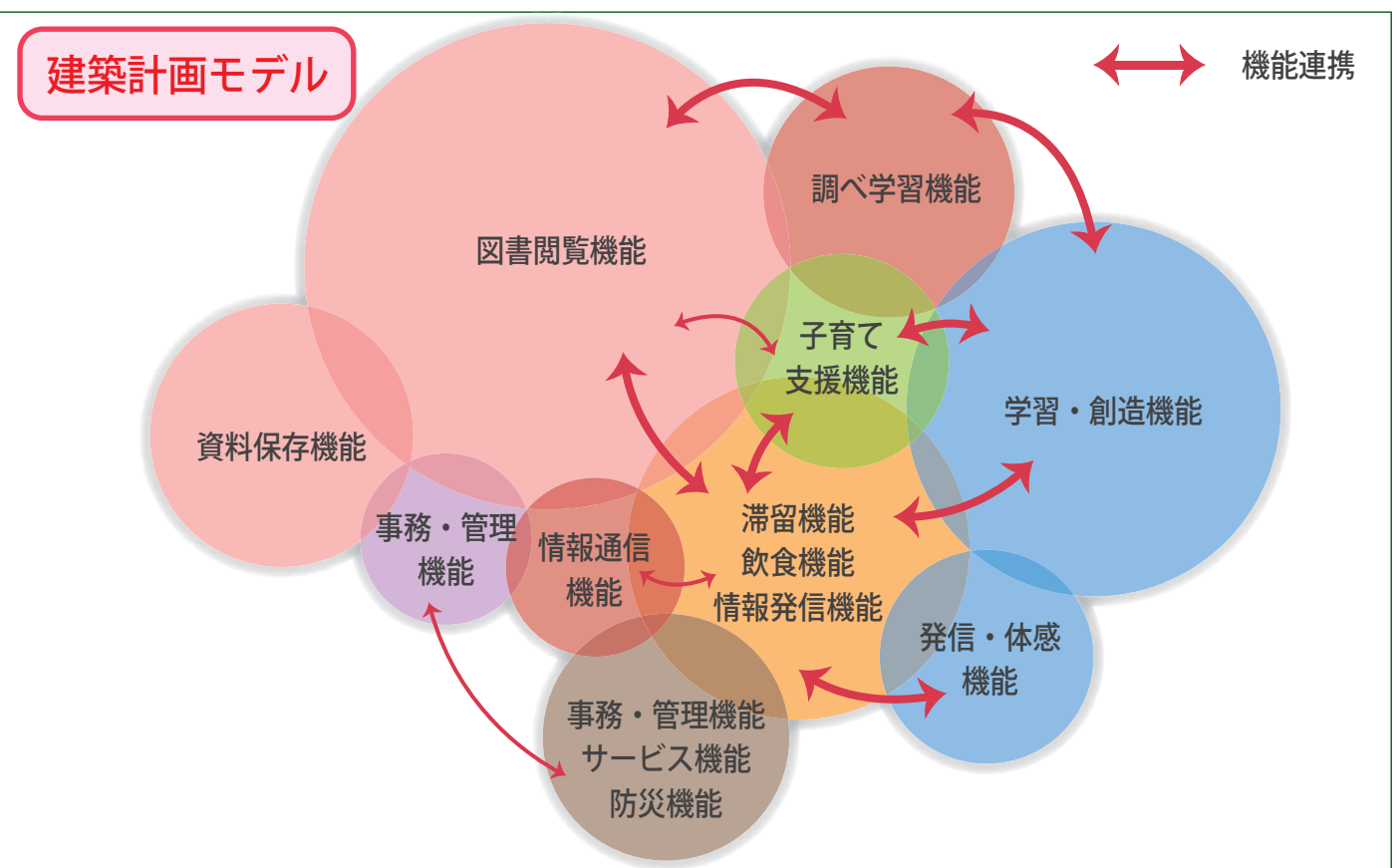
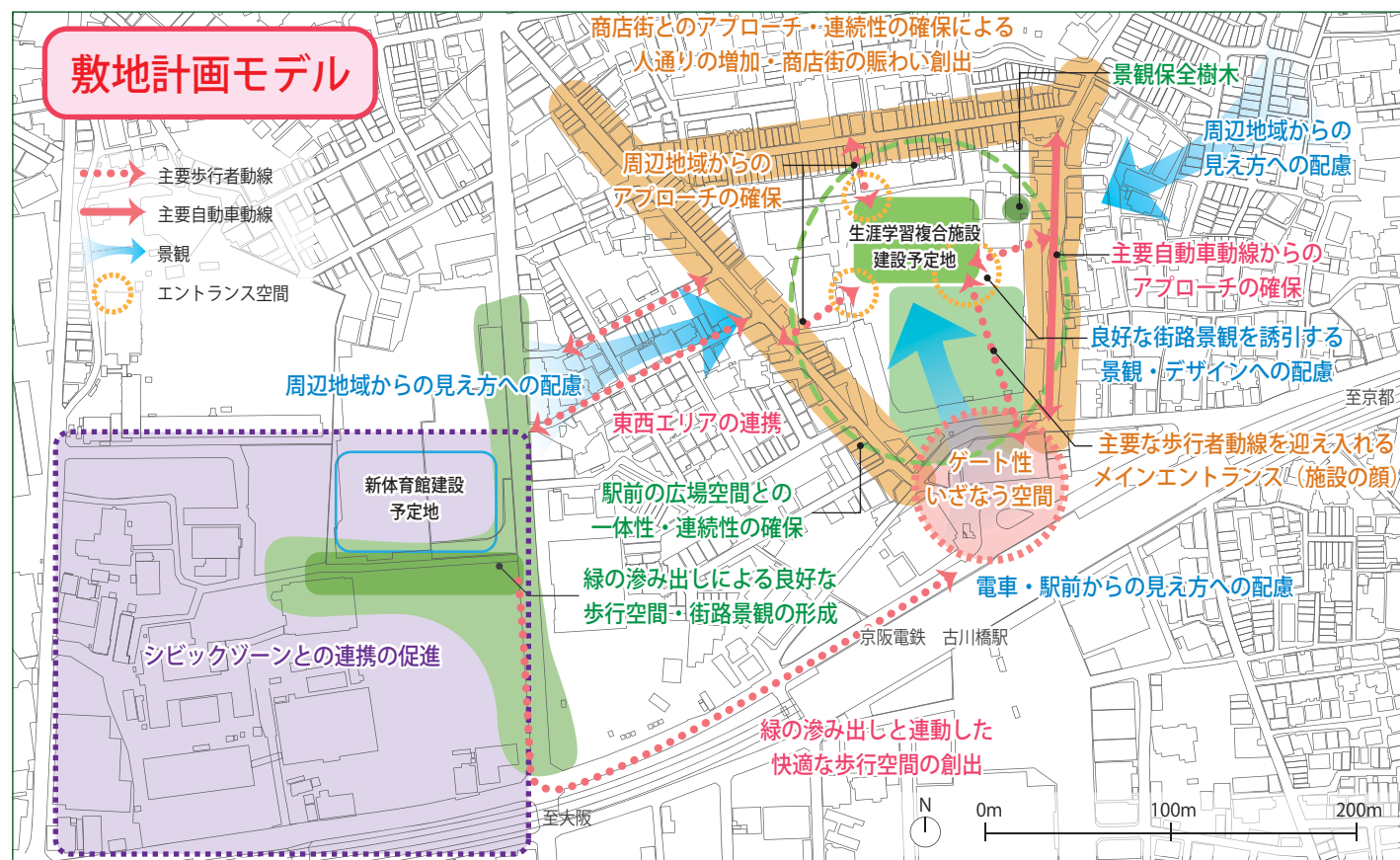
- ・ 駅前の空間との一体性・連続性の確保によるシンボルゾーンの形成やゲート性の確保に配慮し、歴史・文化などの地域性を活かした計画とすること。
- ・ 駅前の空間や電車、周辺地域からの見え方に配慮し、地域の良好な景観形成を先導するデザインとすること。
- ・ 周辺地域やシビックゾーンとの連携を視野に入れた計画とすること。
- ・ 施設は駅前の空間との連続性・一体性を確保し、賑わいとるおいのある顔づくりを行うこと。
- ・ 地域性や周辺環境との関係性に配慮した計画とすること。
- ・ 気軽に立ち寄りたくなる環境づくりを行うこと。

□ 建築計画

- ・ 都市の将来像を先導するような上質なデザインとすること。
- ・ 『門真市の顔』としてふさわしい建物デザインとすること。
- ・ だれもがわかりやすく使いやすい機能構成・配置・動線計画とすること。
- ・ 静的な活動の空間と動的な活動の空間のゾーニングに留意すること。

□ 屋外計画

- ・ 歩車分離など、各種動線を適切に計画すること。
- ・ 外部空間については、駅前の空間への賑わいのにじみ出しや落ち着いた雰囲気での静的な休憩空間など、使い方に応じたゾーニングを行うこと。



■ 管理運営・施設整備に向けた検討

□ 管理運営体制

- (1) 運営手法の動向**
市の直接実施や指定管理者制度の導入など。
- (2) 民間資源の活用**
効果的・効率的な施設の管理運営のため、民間企業の資源（ノウハウなど）の活用を視野に入れた検討。

(3) 管理運営の基本的な考え方

- 図書館部門と文化会館部門を併設するメリットを最大限活用。
- 他施設との連携による生涯学習環境の充実。
- 地域の団体との連携によるサービスの向上・効率化、および民間資源を活用した地域に愛される施設。

□ 整備スケジュール

今後のまちづくり事業などの動向を見据えながら早期開設を目指す。

□ 概算事業費・管理運営費

- 概算事業費：今後の財政状況などを踏まえ基本設計・実施設計の中で具体的に検討。
- 管理運営費：管理運営費の縮減に寄与する建設工事・施設整備・管理運営手法の検討。